

哲 学

助 教 授 盛 永 審 一 郎

◆ 研究概要

- 1) 実存哲学における責任概念
- 2) 応用倫理学の諸問題
- 3) 哲学的生命論

◆ 原 著

- 1) 盛永審一郎：解き放たれたプロメテウス——生殖技術をめぐって。東北哲学会年報，11：51-58，1995.

◆ その他

- 1) 林隆也・盛永審一郎（共訳）リヒャルト・ヴィッサー，カール・ヤスパース：事柄または人格ではなく，人格と事柄。日独共同国際シンポジウム講演収録集，仙台・東京，1995，10.

歴 史 学

助 教 授 高 島 純 夫

◆ 研究概要

古代ギリシア史

◆ 原 著

- 1) 高島純夫：ギリシア史。「ブリタニカ国際大百科事典」第5巻，306-339，TBSブリタニカ，東京，1995.

◆ 総 説

- 1) 高島純夫：シュリーマン，ソロン，ペリクレス，トッキディデス。「人物世界史1 西洋編」今井宏編，4-7，8-11，12-15，16-19，山川出版社，東京，1995.

◆ その他

- 1) 高島純夫：アンティフォン第1番弁論について。歴史学研究会西洋古代史部会例会，1995，7，東京.
- 2) 高島純夫：アンティフォンとコンピュータ。古代史の会，1995，7，東京.

法 学

助 教 授 阿 原 稔

◆ 研究概要

- 1) 昨年と同様，（イ）「医療保障の法構造」と

（ロ）「医事・薬事法」について，研究を行っている。前者は，社会保障法における医療保障の理念と体系を考察するものである。また，後者は，健康権を基礎に独自の法領域としての「医事・薬事法」の体系化を意図するもので，現在，主にカナダの医事法と比較研究を行っている。

心 理 学

助 教 授 桜 井 芳 雄

◆ 研究概要

記憶情報処理に関わる動的ニューロン回路の生理心理学的研究

反応時間課題の行動分析的研究（医学部精神神経医学講座との共同研究）

◆ 原 著

- 1) Sakurai Y., Shibata R., and Kurachi M.: Effects of 6-hydroxydopamine lesions of the medial prefrontal cortex of the rat on performance in a reaction time task. European Neuropsychopharmacology, 5 : 69-73, 1995.
- 2) Kurachi M., Yuasa S., Kurachi T., Shibata R., Murata M., Hagino H., Tanii Y., Kurata K., Suzuki M., and Sakurai Y.: Hypofrontality does not occur with 6-hydroxydopamine lesions of the medial prefrontal cortex in rat brain. European Neuropsychopharmacology, 5 : 63-68, 1995.
- 3) 萩野宏文，倉知正佳，金英道，桜井芳雄，斉藤治：青年健常者における随伴陰性変動と反応時間の関連について。脳波と筋電図，23：395-400，1995.

◆ 総 説

- 1) 桜井芳雄：ラットを用いた記憶の神経機構の研究—動向と展望。日本神経精神薬理学雑誌，15：13-29，1995.

◆ 学会報告

- 1) Sakurai Y.: Hippocampal and neocortical neuronal activities during performance of simple and configural discrimination tasks in the rat. IBRO Satellite Symposium "Perception, Memory, and Emotion: Frontier in Neuroscience", 1995, 7, Toyama.
- 2) Sakurai Y.: Hippocampal neuronal activi-